

## 古代

けんとうし※  
遣唐使の出港風景  
(想像図)

人と大陸文化の  
窓口・古代の国  
際港難波津。

(大阪歴史博物館蔵)



## 江戸時代

之の出る川番新と菱ひ  
図す帆は口船芝綿は垣が

(右上の大きな船が菱垣新綿番船)  
がんすいていよしとよ  
含粹亭芳豊 筆



## 現代

さんき  
近畿 2100万人の生活を支えて発展する大阪港。



## 遣唐使

遣唐使のあとを受けて  
630年(舒明2年)が最  
初。894年(寛平6年)  
までに合計13回送られ  
たとされる。海外のよ  
うすを知ることと、大  
陸の文化を輸入するこ  
とが目的。ふつう4隻  
で往復し、船には240  
人から多いときには500  
人以上の人が乗った。

## 菱垣新綿番船川口出帆の図

この絵図は、新しい綿  
を江戸まで運ぶ菱垣廻船  
の出帆のようすを描いた  
ものである。場所は大阪  
の安治川口。河口(右上)  
に浮かぶ大船が菱垣廻船。

江戸の浦賀までの海上  
およそ650kmを約50時  
間で運んだという記録が  
残されている。(安政6年、  
1859年)「番船」とは、  
春にできた新酒や秋にと  
れた新綿を上方から江戸  
に送るのを競争した廻船  
のことである。

絵図右中段の白い幕に  
囲まれたのは会所(集会所、  
事務所のこと)であって、  
ここで「送り切手」とい  
う参加証を受け取って競  
争にのぞんだ。

「出船千艘・入船千艘」  
といわれた大阪川口のに  
ぎわいのひとこまである。